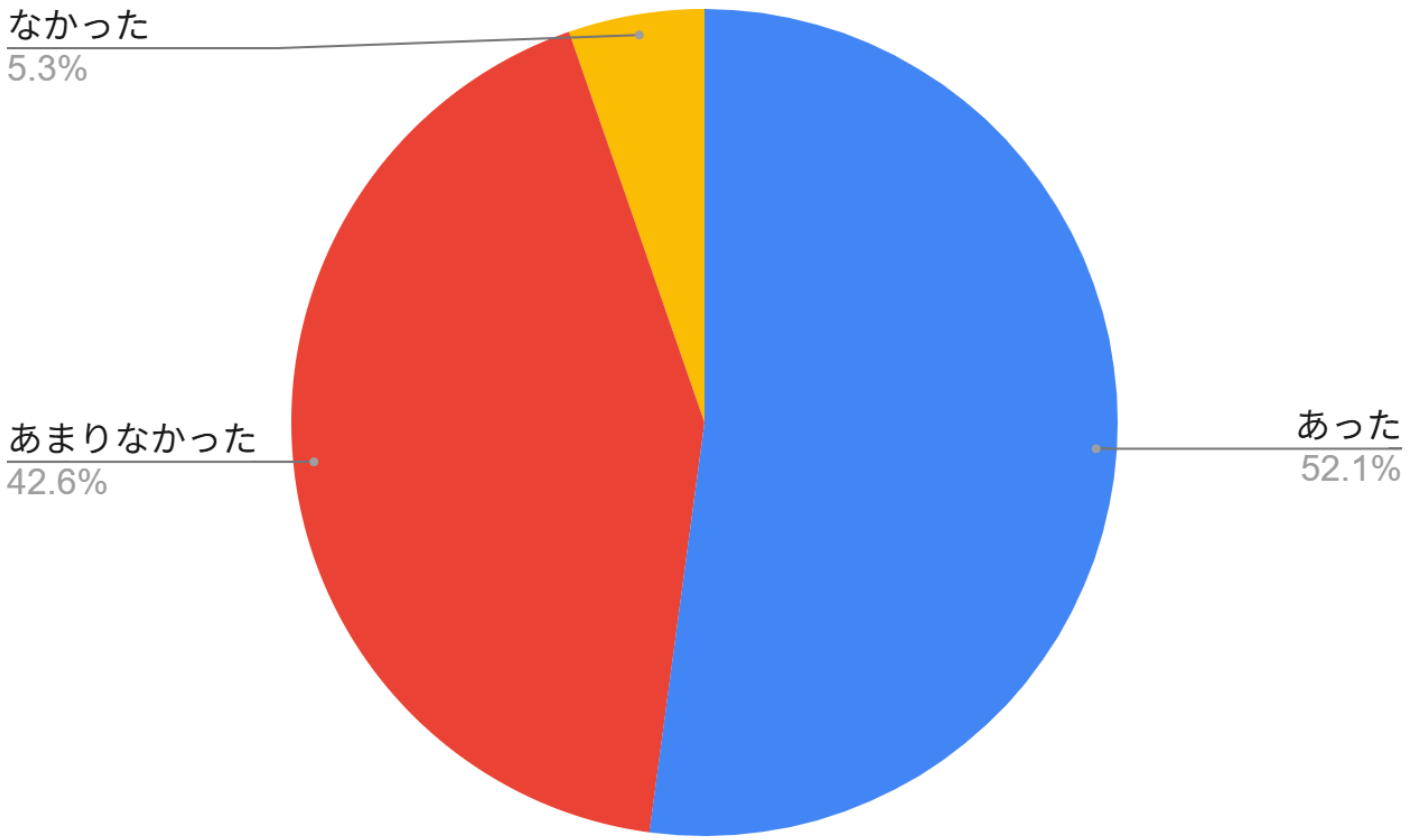
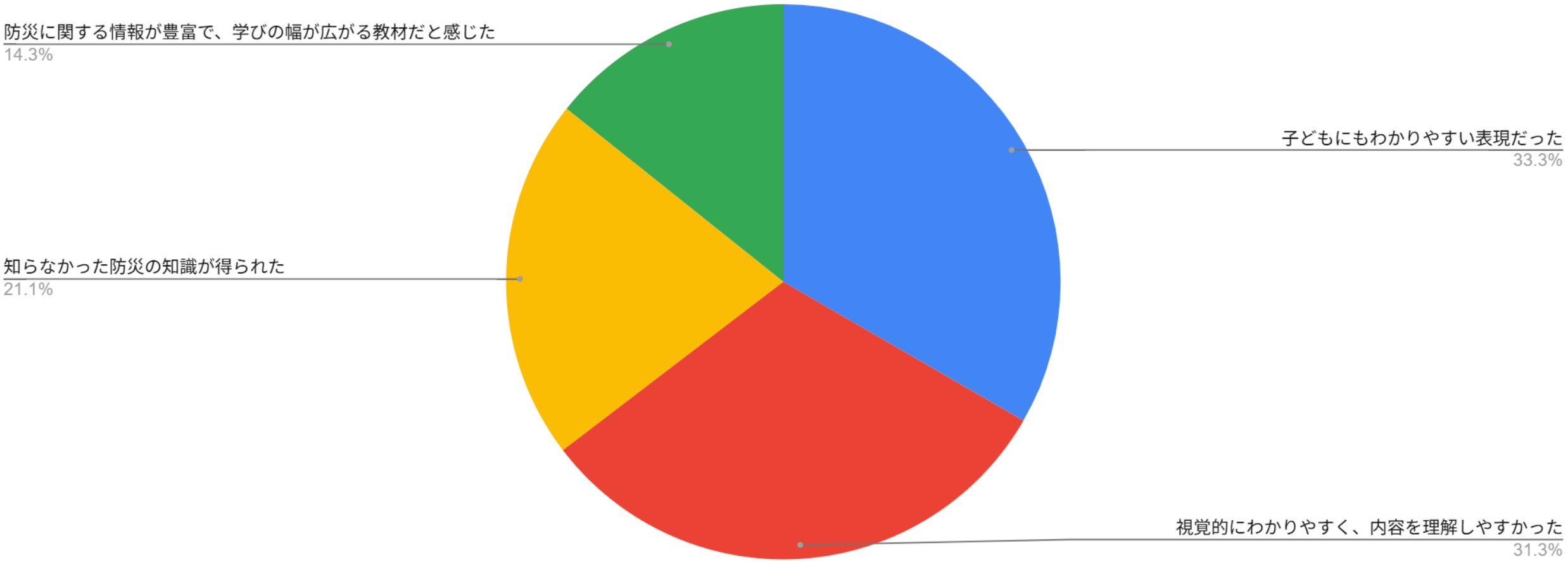
2025はまっ子防災プロジェクト
アンケート結果

保護者

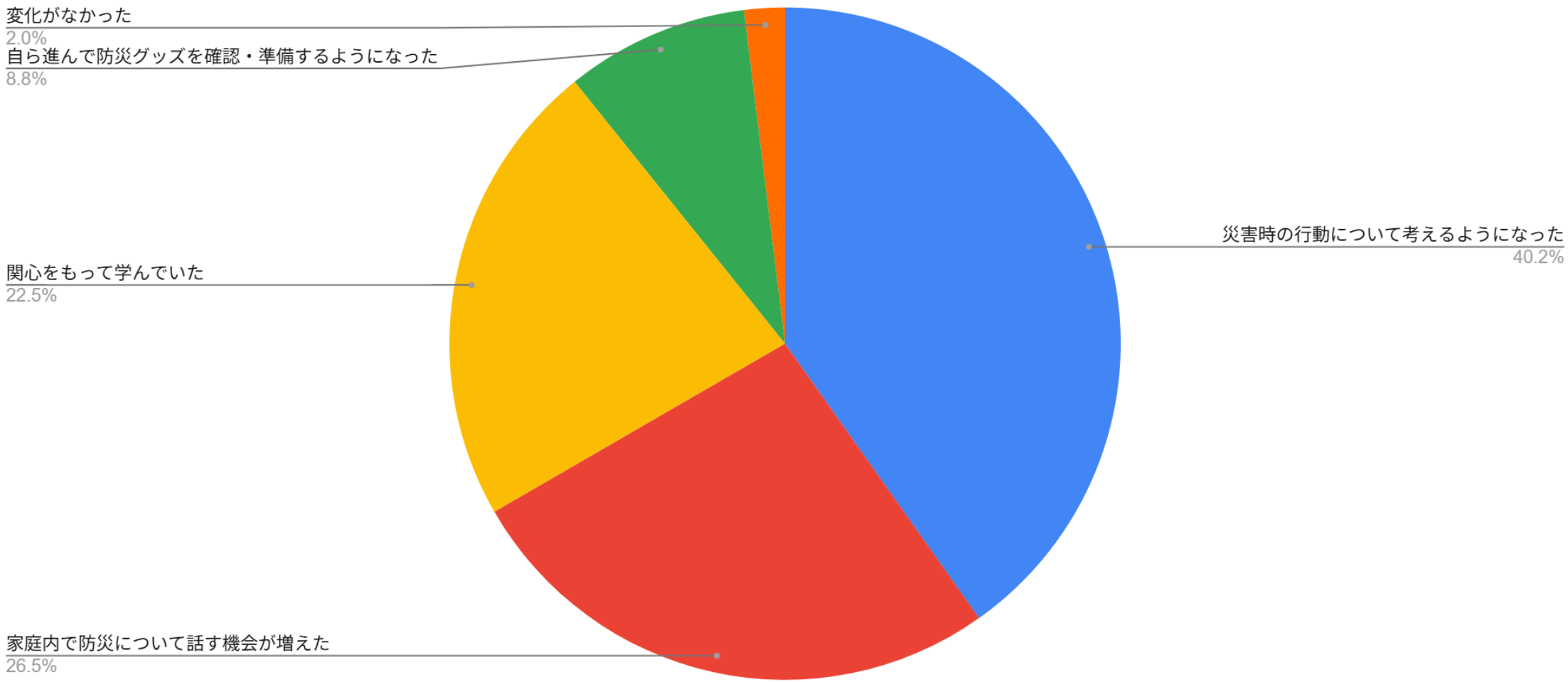
1.今までに防災について家庭内で話し合う機会はありましたか？



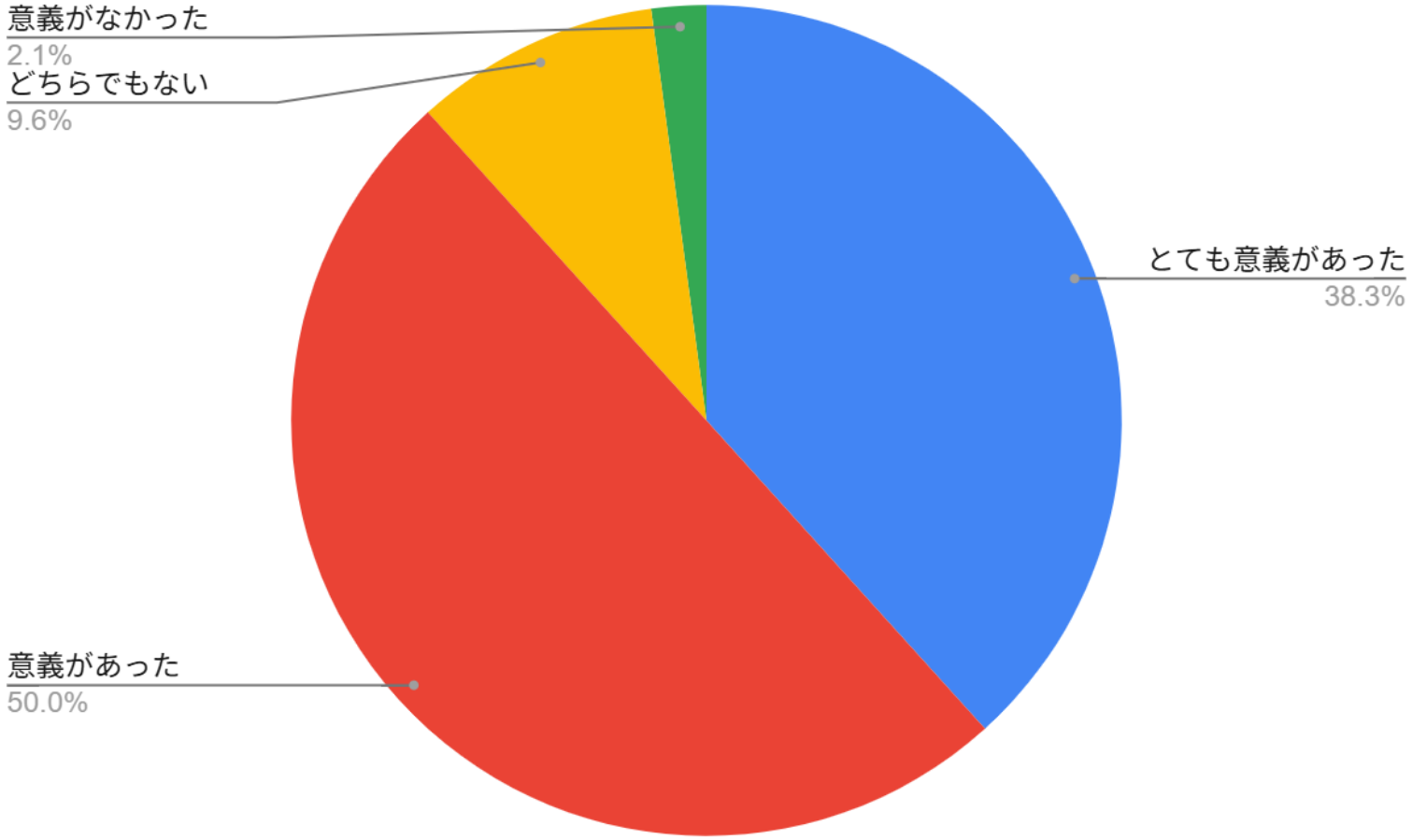
2.はまっ子防災プロジェクトの教材について、どのように感じましたか？(複数選択可)



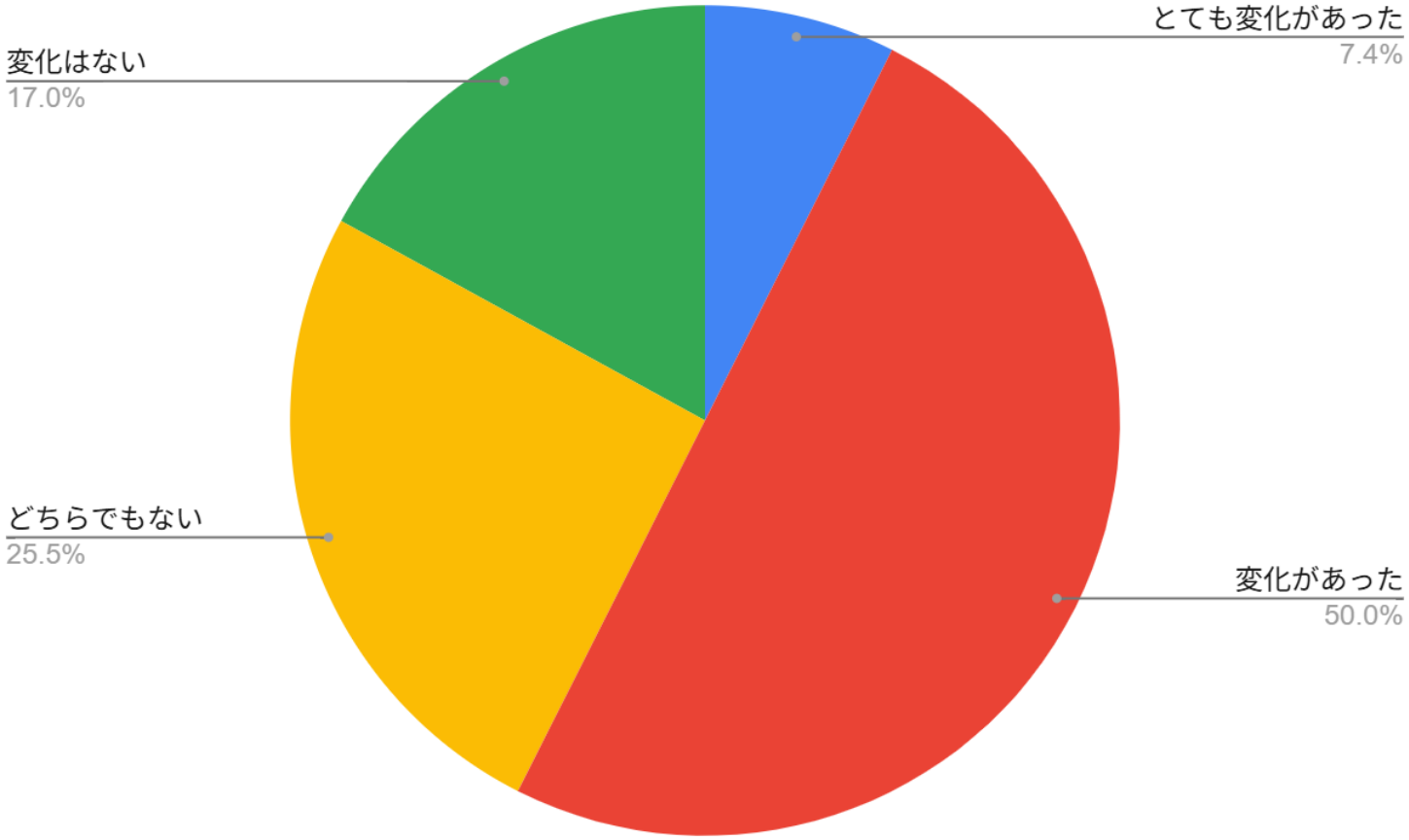
3.はまっ子防災プロジェクトでの学習後、お子様に良い変化はありましたか？(複数選択可)



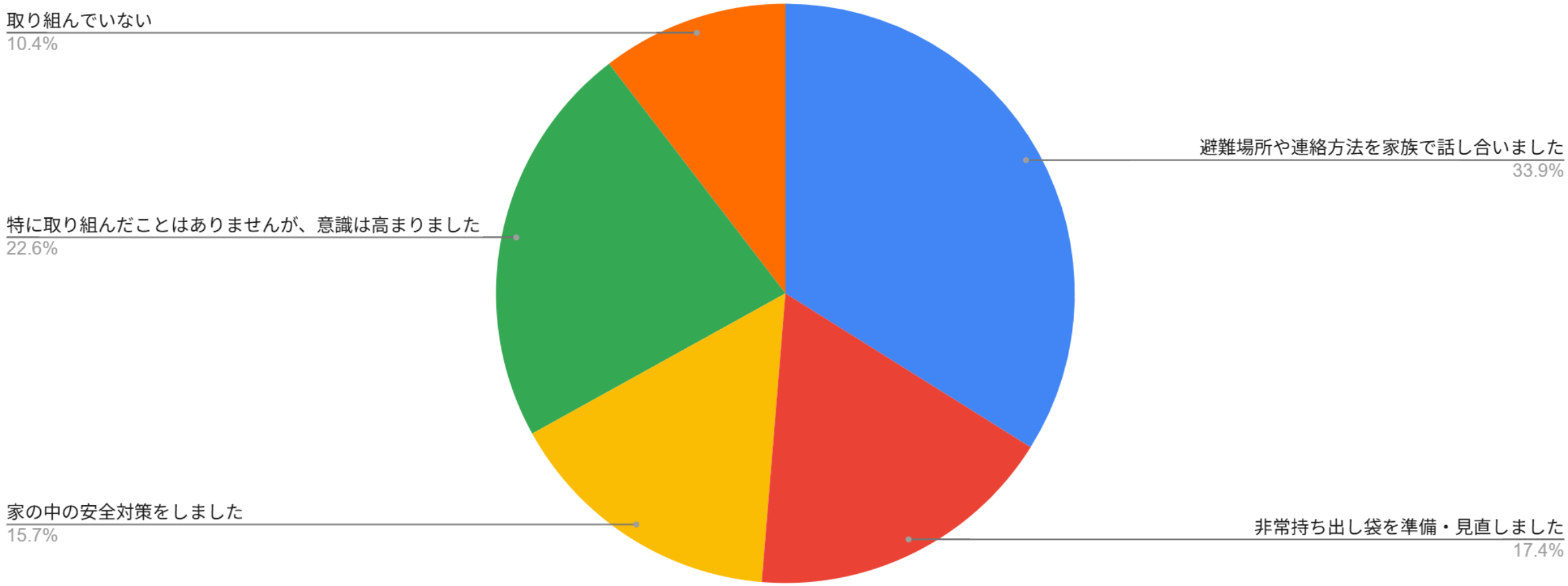
4.この教材を使って学校で防災を学ぶことについて、どのような印象を持ちましたか？



5.はまっ子防災プロジェクトの防災学習を通して、家庭内での防災意識に変化はありましたか？

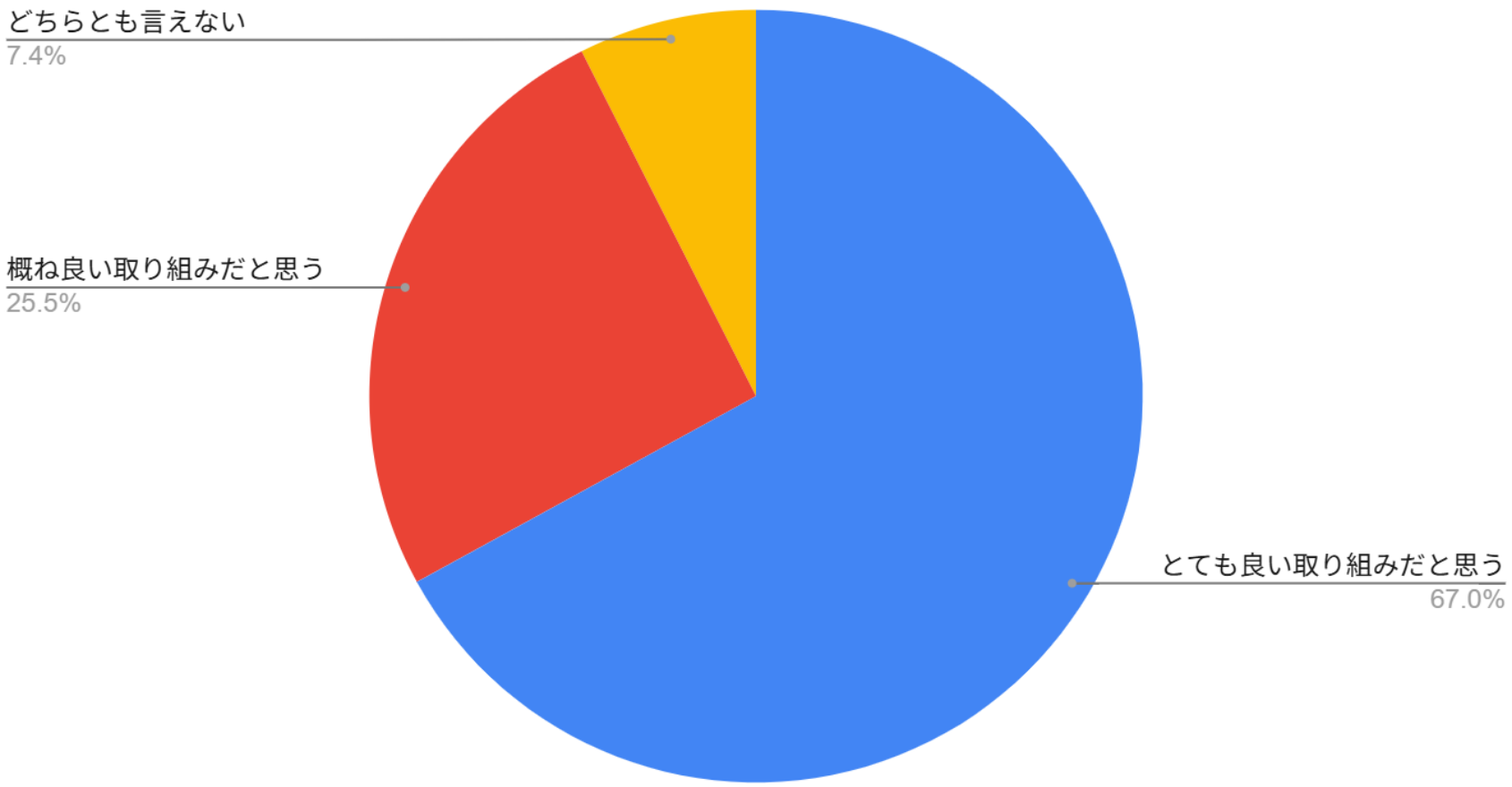


6.はまっ子防災プロジェクトの学習後、防災について家庭内で何か取り組みましたか？(複数回答可)
また、その他を選択した方は、何に取り組みましたか？



その他
はまっこ防災BOXに必要なものを入れた
南海トラフや富士山の噴火について、正しい情報を得ることの重要性を考えた。

7.「公教育×企業協力」の形での教材提供について、どのようにお感じになりましたか？



8.はまっ子防災プロジェクト”企業・団体の防災技術が守る私たちの未来”ページ(p.44～)について、ご意見をお聞かせください。

とても良いと思う。横浜市には記載以外の企業もたくさんあるので多くの企業からの意見や提供を幅広く受け付けてほしい。
防災✕SDGsは、最重要課題だと思います。企業での取り組みは、興味深いので、ゆっくり読んでみたいと思いました！
思ったよりもたくさんの企業が私たちの生活を守る取り組みを考えてくれている事に心強く思いました。日頃からの準備と知識が大切だとあらためて感じたのと、災害時に役立つ企業の力や技術は日本にいくつもあると思うので、適材適所で生かされるといいなと思いました。
知っていることもありましたが、知らないところで企業様たちが防災についてあらゆる対策をしてくださっていることを知りました。もっと認知されたらいいのになと感じました。様々な業界の会社独自の防災の取り組みについて簡潔にまとめられていて読みやすいと思います。
災害時のリスクの想定をして万が一に備える必要性を強く感じた。
まず、家族がいなくなっても、自分一人でも助かる為、もっと企業、団体には頑張って欲しいです。ニュースなどで聞いたことのある内容もあったが、横浜に縁のある企業について紹介されているので、身近に感じられました。
3.11のことは鮮明に覚えている。私はまったく準備ができていなかった。自分の子供たちにもきちんと準備をさせたいと思います。このような情報を用意していただき、ありがとうございました。
たくさんの企業が、防災技術を開発していることを知ることができ、いざという時の備えや、守ってくれていることに心強さを感じました。企業がとても身近に感じ、こども達にとっては、将来への職業や夢が膨らむことにもつながると思いました。
災害時に断水で歯磨きが出来ないのが心配でした。災害時に歯医者さんも診療してくれることや、歯磨き替わりに歯磨きシートを使用したり、ガムなどで唾液を分泌物させると良いことが知れて良かったです。
災害に強い街づくりに未来を生きる子どもたちの意識が繋がれりその連鎖が起こればなお良いと思う
各企業が防災にに力を入れていることが分かり、初めて知る情報もあり大変役に立ちました。家族で防災について話し合い、良い情報を得ることが出来ました。
普段の企業の活動からは知り得ないことが記載されていて、企業への関心が高まったと思う。将来、こんな会社で働きたいなと自分の未来を考える材料にもなると思いました。
災害時に診療可能な医療機関や薬局はのぼり旗を掲げてくれる事を初めて知れたので良かった。
今後何が起こるかわからない時代なので色々、考えれていい取り組みですね。
防災って、1人ずつの意識の問題で被害を最小限にできるので、とてもいいテーマだと思います。
各自治体、各企業の取組を知る良い機会になった。
各企業・団体の災害時の支援などが分かりやすく掲載されていてよいと思いました。

9.企画の改善点やご提案がありましたら、お聞かせください。

（例：アイテムについて、プロジェクトに対する課題、 他にあった方が良いアイテム、防災ガイドに入れてほしい内容等）

日頃から地域と繋がっていると、防災の時頼りにしやすいと思います。
被災された方が必要になった物の年齢性別ごと表
自宅に備蓄をするようもっと促す、むやりに避難所へ行かない、家庭分のアイテムを配る。電話以外の通信手段の重要性を。
冊子のほうが読みやすいですが、防災ガイド的なアプリがあると、スキマ時間に読んだりできて良いかなと思います。（すでにあったらすみません）AEDや心臓マッサージの体験が、もっと気軽にできるといいと思います。
家族写真や他のアイテムを入れることは思いつきませんでした。これは素晴らしいアイデアだ！イラストもわかりやすいし、役に立つ情報がたくさんあった。
物品だけではなく、子ども自身への講習や実践が重要だと思います。
防災ボックスは高さがもう少し低いほうがしまいやすいです
家族間での話し合いに便利そうなページがほしい
アニメーションは想像しやすく良いと思いますが、起こる可能性や確率のパーセントの意味などは正確に伝える必要があると思います。「70～80%」の意味がどういうことなのか、詳しく説明があればと恐怖を煽るだけにならず、建設的な備えにつながると思います。
webの防災シミュレーションコンテンツ。横浜市の身近な場所で災害があったら、どうなるか、どうしたらよいか、を問うコンテンツ。区ごと具体的な災害事例を元に、具体的に想像して防災を考えたい。水害も浸水するエリアかどうかで対策が違う。例えば川の氾濫シミュレーションで、住所を入力するとそのエリアがどうなるか一目で確認でき、それに対する非難や対策を、選択肢や自由記述させる問答など。
災害時の前にお試し出来るように、固めるトイレセットや歯磨きシート、体拭きシートの試用品を配って頂けるとありがたいです。
より小さな地域に落とした避難方法。遠出していた場合の身の守り方。
教材をきちんと使用した授業を実施して欲しいです。実際に災害が発生したことを想定して、こども達が一人一人どう行動するのかをしっかり考えられる機会を作って欲しいです。
マンションが多いこの地域では在宅避難が可能性として大きいと思います。その際、電気や水などライフラインが止まったらどう生活していけばいいのか、季節ごとで必要なものや暮らし方が違うと思うので、実際に子どもたちでシュミレーションして考えて行動する姿勢を身につけてほしいです。また、親がいなくて子どもたちだけで出先で地震が起こった場合、どこが安全でどういう行動を取るべきなのか、想像力を鍛えることも大事だと思います。
必要なものが手に入らない時、どのように工夫するかなど、具体的に行動できるように想定する機会があるといいと思います。
せっかくの企画なので、子どもたちに伝わるよう工夫してほしいです。
本棚に入れられるように、という発想は素敵だが、ダンボールだと雨の日など濡れてしまったり破れてしまう可能性があるのではないかとかんじた。箱の中に入れる前に、防水の袋などに入れられるように、そんなグッズもあると便利だと思った。
実際の被災した地域の人の話を聞く場とかがあるといいと思いました。